

令和6年12月6日発行

<http://setagaya5.boy.jp/scout/>



発行/ボーイスカウト世田谷第5団広報部

カブ隊 | 夏季舎営 in 長者の森

ボーイ隊 | 夏季野営 in 五光牧場

ローバー隊 | キャンプ

会議報告

会議予定

リニューアル第41号

2024年8月2日（金）～5日（月）

## 【夏季舎営 in 長者の森】

カブ隊 隊長

### 土屋 彰男

千曲川支流の相木川の最上流部、群馬県境まで1.2 kmのところにある長者の森で3泊4日の夏季舎営を行いました。

2015年に初めて行き、今回で4回目です。前3回の経験と反省を踏まえて企画し、5月に日帰り、7月に1泊の下見をして、万全の準備で臨みました。

幸い天候に恵まれ、全てのプログラムを予定通り無事に行うことができました。

企画担当の三園副長はもとよりすべての副長、リーダーのご尽力に感謝するとともに、保護者、関係者のご協力、ご支援にお礼申し上げます。

この夏季舎営の経験が楽しい思い出として、スカウトの成長の一助になることを願ってやみません。



企画担当副長

### 三園 真也

都内より涼しい標高1,200mにある長野県南佐久郡の「長者の森」へ行って来ました。

大きなトラブル、怪我や体調不良も無く終わってホッとしています。

日常から隔離された世界で「日常の当たり前」がどれだけ快適か知り、その経験からスカウト達は遅くなります。

しかし、「舎営中の当たり前」もそんな簡単な事ではありません。

リーダーが3ヶ月前から一泊を含む2回も下見に行き、同じように登山し、試食して食事内容を検討し、企画のシミュレーションをして、備品を準備し安全を確認して実行しています。朝の6時からスーパーまで朝食の受け取りに行ったり、現地でも毎晩遅くまでミーティングで再調整もしています。

人数調整や施設との打ち合わせを行う煩雑な食事担当、スカウトの部屋管理を毎日何度もチェックする生活担当、些細な体調管理に気を配る安全担当の三役の方を初め全ての副長に本当に助けられました。そして忙しい中自分のクルマで短時間でも現地入りしてくれるDLが居てくれるからこそ無事に終わりました。皆様本当にありがとうございました。

この事を帰りのバスでスカウト達に話そうかと思いましたが、言葉にする事でも無いのでココにこっそり書きました。





カブ隊 副長

## 保科 哲也

険しかったハイキング。怖かった肝だめし。楽しかった川遊び。自分で捕まえたヤマメを自分でさばいてホイル焼き。山の神に捧げた営火。

夏季舎営 3泊4日。長者の森の思い出は、カブ隊の心の宝。

カブ隊 副長

## 青木 由美

定番プログラムに加えて、川遊びや魚掴みもあり、スカウトはおおいに楽しめたのではないのでしょうか。頑張っってチャレンジしたのに悔しい思いで終わったこともあったかもしれません。

でもそれこそが次への一歩です！

カブ隊 副長

## 本間 千香

今年も工作のランタンと組看板を担当しました。

昨年の肝試しは何も持たずに挑んだ結果、大泣きのスカウトがいたので（気持ちの問題ですが(笑)）少しの明かりのランタンを持っての肝試しでした。ランタンがあれば怖くないのか、昨年の足取りと全く違っていました。ポイントで待っている私たちもスカウトの来る明かりがみえて、とても良かったと思います。

組看板は枝を4本拾ってきて麻ひもで三脚に組み立ててトライポットを作り、組の看板をみんなで書き込み、コテージの前に立ててもらいました。みんなとても素敵な作品ができました。



それから今年の私の目標は登山です。約2名のスカウトが目的の見晴台までは無理だと下見で思い、できたら鉄塔までは彼らを連れて行けたらと思っていました。当日は3人のスカウトでしたがどうにか鉄塔まで登ることができました。ホントにスカウトは頑張りました。辛い思い出になったと思いますが達成感を感じ、これからの自信に繋がれば嬉しいです。

皆様、お疲れ様でした。

カブ隊 副長

## 大西 美由紀

今回も食事とバスレクを担当しました。

カンガルートーストや魚のホイル焼きなど、多くのスカウトが美味しいとたくさん食べてくれました。バスレクでは毎年の他己紹介、歌にプラスしてオリンピッククイズをしましたが、何か一つでも記憶に残ってくれたら嬉しいです。

登山や営火やいろいろスカウトと一緒に頑張り、私自身充実した舎営になりました。



カブ隊 副長

**清水 虎之介**

就職して以来、初めてカブ隊の活動に参加させていただきました。実に3年ぶりです。僕が参加していた頃にカブスカウトだった子たちは既に全員上進しており、今のカブの子たちとは完全にはじめましての状態でした。

参加したのが初日だったこともあり、無限の体力で走り回るスカウト達を見てつくづく、元気だなあと感心してしまいました。一緒に過ごした時間はほんの数時間でしたが、いろんなスカウトとお話もでき、大きなパワーをもらえたような気がします。



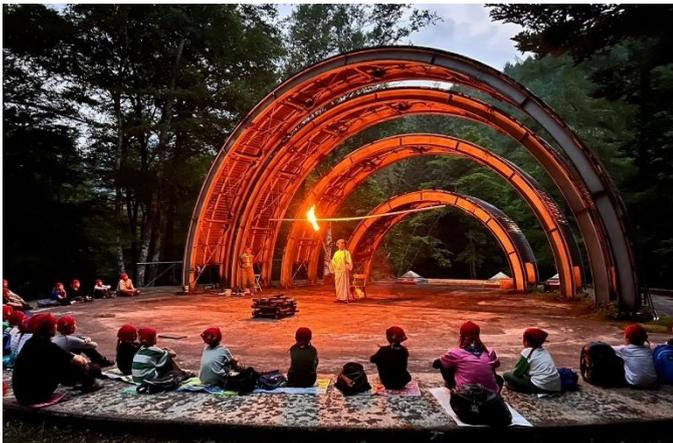
土屋隊長はじめ、副長、DLの皆さま、大したお役には立てませんでしたが、参加させていただきありがとうございました。今後でもできる範囲で顔を出せればと思いますので、引き続きよろしくお祈いします！

カブ隊 副長

**渋谷 真紀子**

今年の舎営では営火を担当しました。山の神がお出ましになり、スカウトたちは歌や踊り、そしてスタントを披露し、みんなで楽しく最後の夜を過ごすことができました。

この4日間、沢山の経験を通して、一人ひとりかけがえのない思い出を作ることが出来たのではないかと思います。私も一緒に楽しませていただきました！ありがとうございました。



カブ隊 副長

**杉山 明日香**

今年はくまどうさぎのスカウトが多く、初めての舎営で戸惑う後輩の導き方を考える機会がくまは多かったと思う。

怒る・叱るだけでは人は動かず、荷物の整理や準備の仕方、スタントの取り組み方など優しく教えてあげることができたかをくま、そしてしかももっと考えてほしかった。

途中から代理DLとなった2組が総合優勝したが、まだまだ努力できた部分があったかと思うので仲良くこれからの活動も取り組んでほしい。



カブ隊 副長

**西山 武秀**

2024年度の夏季舎営は副長として参加する初めての舎営でした。

これまではDLとしてスカウトと一緒に楽しく活動する気分で過ごしていましたが、今年は安全管理や各施設へのスカウトの引率、国旗降納や営火、CPラリー担当など運営側としての時間が増え、楽しいながらも緊張感を感じる四日間となりました。

スカウト達は例年通り朝から晩までギッシリと詰め込まれたプログラムに取り組みました。大人も目が回る忙しさですが、子供達は元気いっぱいこなしていました。

なかには失敗したり辛い気持ちになることもあったかもしれませんが、日常とは異なる、大量の経験を経て大きく成長して欲しいと願っています。

1組 DL

**小渕 康平**

私はDLとしてはじめて2泊3日で参加させていただきました。

子どもたちは、普段の都会の日常から離れ、自然豊かでちょっと不便な集団生活を送りました。

リーダーが用意してくれた様々な企画があったので、この夏季舎営でひとつでも成功体験や楽しかった体験を持ち帰ってくれてたら良いなと思いました。

私個人的には営火が感動しました。自然の中で火を焚いて歌やスタンプ・山の神のお話と素敵な雰囲気もありとても良かったです。



4組 DL

**大村 明大**

二回目の夏季舎営参加となりましたが、天候にも恵まれてとても充実したプログラムだったと感じました。

長者の森の夜は雲が晴れるととても星が綺麗で、都心では見られないプラネタリウムのような星空は圧巻でした。メインの営火も、天気がギリギリもってくれて、無事にプログラムを終えることが出来てとても楽しかったです。

1組 くま



一番楽しかったのは肝試しで、最後から二番目で暗くなってから行ったことです。

制服をきちんとハンガーにかけたり、うさぎの面倒をみたりすることができました。

疲れましたが、頑張れたので良かったです。

1組 くま



自然観察で植物を描いたことが難しかったです。

マスつかみの魚を切る時に包丁が上手く使えず難しかったです。

肝試しが去年より余裕でした。



3組 DL

**坂本 淳子**

今回DLとして参加し、子ども達と一緒に、工作、ナイトハイク、川遊び、テント設営、肝試し、カンガルートーストづくり、魚つかみ、魚さばき、BBQ、追跡ハイク、スタンプ練習、営火を体験しました。初参加で勝手が分からず、大変なことも多々ありましたが、非常に濃密で充実した3日間を過ごすことができ本当に良かったです。

途中で体調を崩し、ご迷惑をおかけしてしまいましたが、優しくご配慮くださり、ありがとうございました。準備・運営、本当にお疲れさまでした。



## 1組 くま



夏季舎営は大変でしたが楽しかったです。

特に楽しかったのは川遊びです。川の水が流れ込んでいるところをみんなで石で塞いだのが楽しかったです。なかなかこんな体験をすることはなかったと思います。

あとは濱矢さんと『世界の色々な国』について話したのが楽しかったです。

ありがとうございました。



## 1組 しか



今年の夏季舎営は長野県の北相木村でした。都会とは違って大自然が見られました。特に川遊びや魚つかみが楽しかったけど、3泊4日は長かったです。

## 1組 しか



夏季舎営、ほとんど全部楽しかったですが、その中で一番楽しかったのは、きもだめしでした。水でっぼうで水をかけられたのが、とてもビックリしました。

1組は全体で4位だったので、次は1位になれるようにがんばりたいです。



## 1組 うさぎ



川遊びが楽しくて、トウモロコシが美味しかったです。

## 2組 くま



僕は3度目の夏季舎営でした。CP ラリーや組看板などで協力して1位を取れた時は嬉しかったです。また少しスタンプ練習で集中できていなかった子に注意を数回で諦めてしまったので、次の活動は意識しようと思いました。

## 2組 くま



夏季舎営で一番印象に残った事は最後の夏季舎営で1位を取れた事です。あと、肝試しと魚をさばいて食べる事も楽しかったです。



## 2組 くま



僕が夏季舎営で楽しかったことは3つあります。

一つ目は魚取りです。一瞬で取ってしまったので僕にとっては簡単でした。

二つ目はキャンプファイヤーの歌です。お気に入りの曲は「星かげさやかに」と「なごりはつきねど」です。

三つ目は少し怖かったですけど肝試しです。

特に最初のガイコツがこっちを向いてくるのが1番怖かったです。実はその近くに北相木村の心霊スポットがあります。詳しくはウェブで。今回は2人以上で行くことを許してくれて、去年は1人で行かないとダメでした。ランタンもあったので今年は優しかったです。友達の〇ちゃんは肝試しでずっと泣いていたので、僕も泣きたくなりました。T君がいないので残念でした。



## 2組 うさぎ



魚つかみと、魚を捌くのが面白かった。

## 2組 うさぎ



夏季しゃえいで、1番楽しかったことは、川遊びです。理由はダムをつくったりして、石をつみあげられたからです。

2組が最優秀組で嬉しかったけど、スタンプが3位で悔しかったです。



## 3組 くま



今回の夏期舎営では3組では何も賞は取れなかったけど、最後だったので楽しかったです。

## 3組 くま



みんなで協力したが結果は3位になって悔しかった。最後の夏季舎営は、悪い結果だったが楽しかった。

## 3組 しか



みんなと寝れて楽しかった。星がとっても綺麗で良かった。

肝試しが怖かったけど楽しかった。

## 3組 しか



魚とりがとても楽しかった。焼いた魚がおいしかったから、内臓以外全部食べた。カンガルートーストも2種類のテーマを決めてサンドして、おいしくできて嬉しかった。



## 3組 うさぎ



夏季舎営では魚取りが1番楽しかったです。魚がすばしっこく動くので、なかなかつかまえられなかったけど、1匹つかまえてうれしかったです。あとさわったらぬるぬるしていてちょっと気持ちわるかったです。

楽しい思い出になりました。



## 3組 うさぎ



CPラリーで、3位だったから悔しかったです。次のCPラリーは、1位か2位を取りたいです。山登りは、本当にきつかったです。魚をさばく時、心臓がとても気持ち悪かったです。魚は、美味しかったです。



## 4組 くま



スタントは、みんなが頑張って面白い演技をしてくれたので、1位をとることができました。総合でも2位だったので嬉しいです。

テントで寝たときは雨が入ってきたけれど、ちゃんと寝ることができました。色々な経験ができて良かったです。



## 4組 くま



次長をやって色々大変なこともあったけれど、楽しい夏季舎営でした。

魚つかみが一番楽しかったです。

くまなので今年で最後ですが、しかの人に来年は頑張ってもらいたいです。



## 4組 しか



ぼくはこの舎営で楽しかったことは川遊びとお風呂と山登りです。

山登りで登った御座山は標高が1,135mで鉄塔に着いた時、お昼ご飯を隊長とみんなと一緒に食べました。おいしかったです。

肝試しは僕が5人組で先頭に立って、最後はお母さんとお父さんに会いたくて泣いてしまいました。

いい思い出になりました。





4組 しか

4組 うさぎ



夏季舎営で一番思い出に残っていて楽しかったのは、営火です。

あと、がんばったで賞がもらえてすごく嬉しかったです！

ぼくが長者の森で楽しかったのは、えい火と川遊びです。えい火は、4組がスタンプ賞をもらうれしかったです。川遊びは時間がみじかかったので、もっと遊びたかったです。



2024年7月31日（水）～8月5日（月）

## 【夏季野営 in 五光牧場】

オットセイ班

夏の5泊6日のキャンプは色々あったけど、楽しかったです！5日目の五光五輪では雨が降っちゃったけど、それぞれでいい経験になったと思います。来年はもう少し上まで山も登れるように頑張りたいです。何より焼肉が美味しかったです！



オットセイ班

今年で3回目の夏キャンプでした。一昨年、昨年とは違い、次長という役職でのキャンプでした。そのため、いつも以上に意識を持って臨みました。

しかし初日、2日目での設営やウッドクラフトで他班より遅れてしまっていました。この経験はしっかり反省して、次の秋キャンプに生かそうと思いました。3日目、4日目の登山やハイクは、辛いながらも楽しめました。そして4日目からは、YさんとSくんも参加して、さらに賑やかになりました。5日目のオリピックでは、班で協力して挑みましたが、あまりいい結果はでませんでした。また、乾燥作業を完全に解いていなかったのも、急な雨に対応出来なかったことは改善していきたいです。最後の6日目での撤営は、とても速く完了できたのでよかったです。

今回のキャンプでは、時間に遅れたり、行動が遅いことが目立ったので、しっかり改善していきたいです。



オットセイ班

私がオットセイ班の班長になって訓練キャンプ以来のキャンプでした。今回は訓練キャンプよりも人も日数も多く、大変でした。とても疲れしました。私は5泊6日のキャンプは何回もやっていますが、小6は初めてのキャンプで、さらに5泊6日を達成していました。終盤になるにつれて、私自身も班員もだんだん疲れが見え始めて、猫の手も借りたいところでした。

いろいろとありましたが、何より怪我も無く無事に終わったことがとても良かったです。横岳もリタイア者はいましたが、ほとんどの人が無事に登頂できて嬉しかったです。班員も多くてそれをまとめるというのはとても難しかったです。私はまだ班全体をまとめているとは到底思えません。これからは次長の手も借りながら、時間をかけて少しずつまとめていく所存です。



## オットセイ班

今回のキャンプでは、横岳登山やオリンピック運営に関して、普段やらないキャンプ生活などのボーイスカウトで最高峰の体験が出来てとても楽しかったです。

また、今回の経験を秋キャンプ、オーバーナイトハイクに生かしていきたいと考えています。



## オットセイ班

遅れての参加だったが、すぐ流れに乗り、キャンプを楽しめた。しかしスカウト技能が低下していたので、そこをなんとかしたい。



## カモメ班

1 日目は設営があり少し遅れたりしたので、次の秋キャンプでは設営する時の指示などを直したいです。

2 日目はウッドクラフトとサイトの手直しがあり、ウッドクラフトではポリタンク置きと門を竹で作りました。ウッドクラフト中に下級スカウトに結びの説明などが出来なかったので、教えられるようにします。



3 日目は八ヶ岳の一角、横岳を登りました。標高 2,829m ぐらいで、途中までは普通の山と同じくらいでしたが、最後の 300m の坂が高く、そこがとても辛かったです。

4 日目は白駒池に行きました。とても広く綺麗



で、3 日目の山登りとは打って変わってとても楽しいハイクでした。クイズが 2 点しか取れてなかったので、もう少し周りに注意を配りながらハイクをしたいです。

5 日目は日々の疲れが溜まっており、朝からとてもしんどかったです。夜のキャンプファイヤーでは、友情についてのスタンプをやりました。僕自身とても楽しめたので良かったです。最終日の 6 日目では撤営がありました。最終日ということもあり、指示もうまく出せて良かったです。最優秀班と最優秀スカウトを取ることが出来たので、みんなの模範となるようなスカウト活動を出来るように、これからも日々頑張っていきます。



カモメ班

設営の時は、訓練キャンプの時より素早く協力して作業することが出来たが、班員に上手く指示出し出来なくて立ちかまどの強度が低くなってしまったので、秋キャンプでは強度の高い立ちかまどを作れると良いと思いました。ですが、翌日のウッドクラフトでは強度の高いポリタン置きと門を作れたので、設営の時の反省を生かしたのではないかと思います。

横岳の登山では、横岳の急斜面に驚かされました。また標高も高い山なので、諦めかけたこともありました。ですが僕はその困難を乗り越え、山頂にも到達することができてとても嬉しかったです。今までの登山の中で一番達成感を感じた登山でした。また、今後はさらに難易度の高い山に挑戦したいと思います。

また自分自身、今回の夏季キャンプで1級スカウト章も獲得することができたので嬉しかったです。



カモメ班

今回の夏キャンプでは、炊事においてかなり成長する事ができました。

1 日目はなかなか火をつけられず、副長の手を借りる事になってしまいました。

2 日目はなんとか火はついたものの、火の大きさが不安定だったため N 君に指摘されてしまいました。

3 日目からは言われたようにハの字に並べたりして、短時間で火をつける事ができるようになりました。

次の機会でもできるようにしたいと思います。



## カモメ班

今回の夏キャンプは途中参加でしたが、キャンプを終えての反省は、最終日の撤営で備品箱を片付けた時に、洗剤か油の蓋が開いていて、備品がほぼ全て汚れてしまっていたので、それをきれいにするのに時間をとられてしまい、回収の時間に間に合わなかったことです。次回はそういうことのないように、洗剤や油といったモノの管理をしっかりと行っていきたくて思いました。

5日目の五光五輪の時に予想外の強さの夕立が降り、いろいろありましたが、カモメ班の荷物テントは被害を最小限に抑えられたので、そこは良かったと思いました。

今回のキャンプを通してよかった点、悪かった点を知ることができたので、次回のキャンプでは悪い点を改善し、良い点を増やしていきたいと思いました。

とても楽しかったです。



## カモメ班

キャンプでの一番の思い出は横岳登山です。朝早くの出発から道中の険しさまで、厳しいことの連続だったけど、登りきったときの気持ちよさや素晴らしい景色を見たときに、みんなと一緒に来てよかったと思えました。

一人では達成できないこと、経験できないことをたくさんできて、年齢の違う先輩や大人の人たちと話したり生活ができて、とても充実した五泊六日でした。



## カモメ班

このキャンプは、今までで一番長い5泊6日のキャンプでした。このキャンプではとても疲れましたが、しかし、様々なことが起き、楽しかったです。

1日目は、7時に集合し、昼から設営を始めました。時間内に終わらせることができよかったです。

一番大変だった日は、3日目の登山です。予想していた時間より早く展望台につき、全員で横岳の頂上まで行くことになりました。とても大変でしたが、良い経験になりました。頂上から見る景色は、とても綺麗でした。

3日目に次いで4日目もハイキングがあり、大変かと思われましたが、思ったより楽でした。帰りに温泉へ行き、さっぱりしました。

5日目は五光五輪がありました。様々な競技があり、班旗立てなどがありました。途中で強い雨が降り、雨具を持ってきておらず、机やブルーシートを雨除けにサイトに帰り大変でした。

最終日、キャンプサイトの撤営をし、閉村式で最優秀班とスカウトが発表されました。最優秀班はカモメ班で、最優秀スカウトはカモメ班のAさんでした。

帰りにバスで温泉まで行き、バスで帰りました。



## トナカイ班

ボーイスカウト2回目の夏季キャンプでしたが、去年の自分より成長したところがいくつかあり、それと一緒に自分のスカウト技能が去年より一段とレベルアップした気がします。設営を班員と協力して行いました。去年分からなかったことも今年の夏季キャンプではわかるようになっていて、ペグの打ち方やフライの付け方などがわかっていて、設営は去年よりもスムーズに出来ました。その夜は疲れたのかグッスリ寝れました。

また登山では横岳に登るという過酷なプログラムでしたが、スポーツをしているおかげかあまり疲れなかったです。その次の日がハイクだったので体力が持つかどうか不安でしたが、白駒池の絶景に魅了されて疲れなんて忘れていました。

五光五輪ではトナカイ班の一員として班旗立てやロープ結びを頑張りました。班員で協力しながら見事優勝することができ、とても嬉しかったです。しかし大雨が降ってテントが浸水するなどのハプニングが起き、とても大変でしたが、とても良い経験になりました。

撤営の時は設営よりも大変でした。ペグや収納する袋に詰めるのがやっとでしたが、先輩の指示も受けながら無事撤営できました。

五泊六日と言う長い期間でしたがこの期間で多くの事を学び、これからに活かしていきたいと思いました。



トナカイ班

五光五輪では、手旗やロープ、50m 測定など様々な競技があったけれど、それらの競技をほぼ全て一位で終わらせる事ができて嬉しかったです。

ロープの技術も少し上達できたのでよかったです。

トナカイ班

今回のキャンプでは、中学2年生になってから2回目のキャンプでした。今回のキャンプでは、中2が3人、中1が1人で、他の班よりかは人数や級も低い班でしたが、かなり頑張った方だと自分でも思います。それはなぜかというと、優秀班2回、クイズ大会で優勝したり、五光五輪でも優勝を収めました。しかし、惜しくも最優秀班にはなれませんでした。朝の点検で遅れを取ったりしてしまったからだと思います。来年のキャンプでは、そういった作業もしっかりとしていきたいです。



トナカイ班

今回のキャンプでは班長をしました。朝の点検では何度か遅れてしまったので、もっと班員一人一人に具体的な指示を出したかったです。五光五輪では4人だったけれど、協力して優勝出来ました。来年もあるので、来年こそは最優秀班が取れるように頑張ります。



2024年7月31日（水）～8月5日（月）

## 【キャンプ】

### 磯田 悠生

実に1年以上ぶりに活動に参加した。久しぶりの活動。もっとも、ここでいう「久しぶり」には2つの意味があった。ひとつにはボーイスカウト活動に参加すること。そしてもうひとつはキャンプに参加することそれ自体であった。そういう意味で、私は内心強い不安を覚えながら準備に励み、全日程参加の意思表示をした自分を呪ったりもした。しかし、キャンプを終えた今になってその時の心境を振り返るに、その不安は、筆者がスカウトだった時代に感じていたキャンプに対する畏敬に近いものだったと思う。私の中学時代の夏休みは、それこそ遠目に見る八ヶ岳のごとく、複数の峰からなる稜線のような成り立ちをしていた。そして、夏キャンプは間違いなくその峰のひとつであり、その手前で二の足を踏ませるほどの大きなイベントであった。期せずして、当時の心境を思い出し、新鮮な気持ちで活動に参加できたことは、一つの奇跡であつたらう。

奇跡といえば、今回の我々のキャンプはさまざまな奇跡に支えられた。美しい森、静かな湖、満天の星、蒼空の山頂、豪雨霹靂。これらはまさに我がBS隊の徳望の織りなすものともいえようが、スカウトと共に、思い出というにはあまりに盛りだくさんな幸の体験者になれたことを光栄に思う。また、これらの活動を影から支えてくださった他のリーダーや保護者の方の相当な熱意も、奇跡的でかけがえのないものだとも常々思うところである。

キャンプというその峰は、中学生だった私にとり、存外険しく苦勞の多いものだった。しかし、その苦勞の分だけ語り草が増えるというものであり、むしろ苦勞を超えてヤケクソになれる瞬間の楽しさを教えてくれる場でもあった。要するに、私にとって夏キャンプは、他の峰とは一線を画する「何か」を味わい、あるいは持ち帰ることのできる機会であった。またそれは、成績とか現代的な快樂とかではなく、もっと有機的なものだったと思う。

そして、その「何か」の得体の知れなさこそが、キャンプの最大の妙味であると私はまた思う。つまり、その「何か」は、学校で方程式の時限に解の公式を習うというような、予定された具体性のある会得とは異なり、キャンプが終わってみないとその内容がわからないというブラックボックス的な性質と、まして会得の有無すらわからない悶々とした漠然性を持っているのである。私は前述の感をきっかけにその「何か」の存在に気づき、今こうしてその正体を暴こうとしているのであるが、イマイチ要領をえない記述をこのように繰り返すのみである。つまり、23という歳になってもまだ、その漠然性を楽しむレベルにまでしか至れていない点に、キャンプの奥深さを感じさせられているのである。

話を大きく構えすぎだが、最後に感謝を述べたい。私が上記のような不安を抱きながらも（そして実際に欠陥を抱えながらも）なんとかキャンプをやり切ることができたのは、なにより私を実利面、メンタル面でサポートしてくれたリーダーやスカウトのおかげである。他者の存在と協力なしに試練は乗り切れない、という大きな教訓を得たような気がしている。そして、都合の赴くままに顔だけ出した私に対し、大きく暖かな手を差し伸べてくれた当団の懐の深さに痛み入る次第である。これらの体験と、これまで与えられたものを糧に、日々の私生活に励んでいきたいと思う。

一度（ひとたび）スカウトに、誓いを立ててなりし日には、いつもかも永遠（とわ）にスカウトなのである。

## 会議報告

### ■ 団会議：8月31日（土）19:30 @Google Meet（オンライン）

- 各隊活動報告/予定共有
- 夏季舎営・野営実施報告
- 9月カントリーデーの企画（最終案）
  - ✓ RS 隊長より説明・確認。
  - ✓ 夏季行事発表資料は、事前に横山団委員長まで送付。

### ■ 育成会活動報告

- 尾山台フェスティバルに向けての役員会（実施予定）

## 会議予定

### ■ 団会議：9月28日（土）19:30- @尾山台地区会館

---

さくらリニューアル第41号 2024年9月

2024年12月6日発行

◎発行／ボーイスカウト世田谷第5団 広報部

◎デザイン／神田貴史 BS 副長

◎編集／清水虎之介 CS 副長

---